

ラトビア月報

【2022年8月】



2022年（令和4年）9月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

主な内容

【政治】

- ・ 計19政党・政党連合が第14回国会選挙に立候補
- ・ リガ市は戦勝公園のソ連記念碑を撤去 (P. 1)

【経済】

- ・ 政府はスクルテのLNGターミナルに国益対象施設のステータスを付与することを決定 (P. 3)

【外交】

- ・ ラトビアが「16+1」の協力枠組みから離脱 (P. 5)

【その他】

- ・ 1,400回分のサル痘ウイルスのワクチンを受領 (P. 8)

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本国大使館の見解を述べたものではありません。月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

— 政治 —

【今月の注目記事】

◆計 19 政党・政党連合が第 14 回国会選挙に立候補

8月2日、中央選挙管理委員会は第14回国会選挙への候補者名簿の提出を締め切り、同日までに「発展・For!」、「安定のために!」、「調和」、「進歩党」、「新・統一」、「LPV（ラトビア・ファースト）」、「統一リスト（ラトビア緑の党、ラトビア地域連合及びリエパーヤの党）」、「ナショナル・アライアンス」、「緑と農民連合」、「全ての人々ために」、「ラトビアのロシア連合」、「共和」、「保守党」、「主権」、「国民の力」、「ラトビア国民の奉仕者」、「ラトビアのための社会」、「キリスト教進歩党」及び「ラトビアのための団結」の計19の政党又は政党連合の候補者名簿を登録したと発表した。立候補した議員は合計1,832人（1,461人）、平均年齢は46.3歳（約46.5歳）、最年少者は21歳（21歳）、最年長者は92歳（88歳）で、女性の割合は36.3%（31.8%）であった（括弧内は2018年に実施された第13回国会選挙における立候補者のデータ）。

◆リガ市は戦勝公園のソ連記念碑を撤去

8月23日から25日にかけて、リガ市は戦勝公園のソ連記念碑を撤去した。前日の22日の夕方には、集会が禁止されていたにも関わらず、数十人が記念碑付近に集まり、記念碑撤去に対して賛成ないし反対の立場を積極的に表明する等し、そのうち数名は警察の命令に従わない等の行動をとったため警察に拘束された。

23日、記念碑を取り囲むフェンスの中に重機が運び込まれ、記念碑の前方部分の解体が始まった。25日には、記念碑の最後の構成要素である高さ79メートルのオベリスク（この種の記念碑としてはバルト三国最大）を7時間かけて撤去した。撤去に際して暴動等の大きな問題は起こらなかった。同日、レヴィッツ大統領は自身のツイッター上で、同記念碑は民主主義の価値を重視するラトビアにはふさわしくなく、記念碑の撤去は正しい決断だったと述べた。

戦勝公園の記念碑は、第二次世界大戦のソ連のナチス・ドイツに対する勝利を記念して1979年から1985年に建設された。

◆7月の政党支持率

8月3日、ラトビアテレビは、民間調査会社「SKDS」が実施した支持政党に関する7月の世論調査結果を公表した。調査の結果によると、ロシアのウクライナ侵攻後に第1位となった「新・統一」（※カリンシュ首相の所属政党）は1.1%ポイント減少したものの8.8%で第1位を維持し、「ナショナル・アライアンス」及び「調和」もそれぞれ第2位及び第3位で変化はなかった。また、連立与党である「保守党」は1.2%ポイント減少して2.4%となり、第12位まで転落した。

政党名 (%、括弧内は前回の国会選挙の得票率)	支持率 (%、括弧内は 2022年6月の値)
「調和」(19.80)	7.3 (7.0)
「KPV LV」(14.25)	- (-)
「保守党」(13.59)	2.4 (3.6)
「発展・For！」(12.04)	5.5 (5.7)
「ナショナル・アライアンス」(11.01)	7.5 (7.0)
「緑と農民連合」(9.91)	5.1 (5.5)
「新・統一」(6.69)	8.8 (9.9)
「統一リスト」(2022年7月公式登録)	3.3 (2.7)
「ラトビアのロシア連合」(3.20)	3.8 (2.4)
「進歩党」(2.61)	4.5 (5.2)
「全ての人々のために」	2.7 (2.4)
「LPV (ラトビア・ファースト)」(2021年8月設立)	3.4 (3.0)
「共和 (Republic)」(2021年8月設立)	1.4 (0.8)
「安定のために！」(2021年2月設立)	2.9 (2.8)
「主権」(2021年8月設立)	1.2 (-)

(政党は上から2018年10月に実施された第13回国会選挙で獲得票数が多かった順)

◆政府はベラルーシ国境近辺における非常事態宣言の再延長を決定

8月9日、政府はベラルーシ政権によるハイブリッド攻撃の再発等の潜在的リスクに関する内務省からの指摘及びベラルーシがロシアのウクライナでの戦争の拡大を支援していることを考慮し、ルーザ地区、クラスラヴァ地区、アウグシュダウガヴァ地区及びダウガウピルス市における非常事態宣言の期限を3か月間延長し、11月10日までとすることを決定した。内務省によれば、2021年8月10日に同宣言の発令を決定して以降、ラトビア当局は計6,777人の不法越境を阻止した。8月11日、国会はこの決定を承認した。

◆国会はロシアをテロ支援国家と認定

8月11日、国会はロシア軍による意図的なウクライナの民間人への攻撃等をテロと認定し、ロシアをテロ支援国家とする声明を採択した。同声明では、EU加盟国に対して、ロシア及びベラルーシ国民への観光及び入国査証の発給を即時停止するよう要請している。声明の中で、2022年2月24日以降、1200万人のウクライナ人が自宅から避難し、500万人以上が国外に避難することを余儀なくされており、人権団体及び国際監視団はロシア軍がウクライナの民間人に対して行った拷問、強姦、殺人、民間人の集団拘束及び集団国外追放等の残虐行為に関して報告していると述べている。

— 経済 —

【今月の注目記事】

◆政府はスクルテの LNG ターミナルに国益対象施設のステータスを付与することを決定

8月30日、政府は閣議において、スクルテに建設が計画されている LNG ターミナルに国益対象施設のステータスを付与することで大筋合意した。同決定により、行政プロセスが簡素化され、計画を迅速に実施することが可能となる。同計画の開発業者は、スクルテの LNG ターミナル建設計画は 16 か月以内に完成できると予測している。経済省はコンサルタント会社「PwC」社に、同計画に関する詳細なリスク評価を委託しており、9月20日の閣議でこの評価結果を報告する予定。

◆2022年7月の消費者物価上昇率は21.5%

8月8日、中央統計局は、2022年7月の消費者物価上昇率が前年同月比21.5%、前月比では2.2%となったと発表した。前年同月比21.5%の上昇は、月毎のデータのある1998年1月以降で最も高い上昇率。昨年と同様、今年7月の物価上昇は、主に住宅関連のエネルギー価格の上昇の影響を受けた。部門別では、住宅関連(50.7%)、運輸関連(28.8%)、食料品・ノンアルコール飲料(24.3%)において上昇が見られた。特に、燃料費(51.5%)等の物価の上昇が影響を与えた(括弧内は前年同月比)。

◆2022年7月の失業率は6.0%

8月8日、国家雇用庁は2022年7月末の失業率は前月末比0.1%ポイント増の6.0%となったと発表した。地域別では、リガ地方が4.5%(0.2%ポイント増)で最低となり、ラトガレ地方が12.9%(0.2%ポイント減)で最大となった。また、ビゼメ地方が6.1%(0.2%ポイント減)、クルゼメ地方が6.0%(変化なし)、ゼムガレ地方が5.6%(0.1%ポイント増)となった。同庁に登録された失業者は52,766人(509人増)となった(括弧内は2022年6月末比)。

◆経済省は2022年の消費者物価上昇率を16%と予測

8月8日、経済省は2022年の消費者物価上昇率(年平均)は16%に達すると見られ、2022年末から2023年にかけて状況は段階的に安定し、インフレは減速すると予測した。中央統計局のデータによると、2022年7月の消費者物価上昇率は前年同月比21.5%、前月比2.2%上昇した。商品は2.5%、サービスは1.3%上昇した。物価上昇に最も影響を与えたのは天然ガス価格であり、7月1日からのガス料金の値上げに関連して天然ガス価格は74.8%上昇した。また、2021年8月から2022年7月の消費者物価上昇率は2020年8月から2021年7月と比較して10.8%増加した。

◆ラトビア・ウィンド・パークへの投資額は約10億ユーロ

8月8日、風力発電所建設のためのラトベネルゴ社及びラトビア森林公社によるジョイント・ベンチャー「ラトビア・ウィンド・パーク」のオープニング・イベントが開催された。カリンシュ首相は同イベントで、「ラトビア・ウィンド・パーク」公社による約10億ユーロの風力発電への投資の調達によって、ラトビアは電力の輸出国になるだろうと述べた。インドリクソーネ経済大臣によれば、この計画により建設される風力発電所の発電力は800MWであり、昨年のラトビア国内の電力消費量の約3割に相当する年間2.4TWh程度の発電が可能となる。チャクステ・ラトベネルゴ社CEOは、本プロジェクトでは5年以内に100~120基の風力タービンの設置を予定しており、これらは国の援助を受けず完全に商業ベースで行われると述べた。また、このプロジェクトにより年間5000万ユーロの歳入が見込まれている。

◆2022年上半期の貿易額は前年同期比35.5%増

8月10日、中央統計局は、2022年上半期の貿易額が前年同期比35.5%増の217.7億ユーロとなったと発表した。輸出額は前年同期比31.8%増の96.2億ユーロ、輸入額は前年同期比38.7%増の121.4億ユーロとなった。

◆ラトビア財務省は2022年のGDP成長率を2.8%に上方修正

8月12日、財務省は2023年予算案策定のため、2022年から2025年のマクロ経済のデータを更新した。新型コロナウイルス規制解除後の経済成長の回復及び2022年上半期にはウクライナでの戦争の影響が限定的であったこと等から、2022年のGDP成長率を2.1%から2.8%に上方修正した。一方で、下半期には戦争、貿易制限及び物価上昇の経済への影響により経済停滞が予想されることから2023年のGDP成長率を2.5%から1.0%に下方修正したが、2025年までには3.4%に回復すると見込んでいる。労働市場では、戦争、貿易制限及び物価上昇の影響は2022年上半期にはまだ顕在化しておらず、2022年の失業率は0.5%ポイント減の7.1%と予測した。

財務省は、同予測は非常に不確実性が高い中で策定され、地政学的状況の大幅な悪化及び新型コロナウイルス流行による規制強化等は考慮されていないとしている。

財務省による2022年から2025年のマクロ経済指標は以下のとおり。

	2022年	2023年	2024年	2025年
実質GDP成長率(%)	2.8	1.0	3.0	3.4
消費者物価上昇率(%)	16.5	6.5	1.0	2.0
失業率(%)	7.1	7.1	6.7	6.5

◆2022年第2四半期の失業率は6.6%

8月16日、中央統計局は2022年第2四半期の失業率は前期比0.7%ポイント減、前年同期比1.3%ポイント減の6.6%となったと発表した。若者(15歳~24歳)の失業率は前

年同期比では1.9%ポイント減、前期比2.8%ポイント増の14.8%となった。長期失業者（12か月以上失業している人）が全失業者に占める割合は前期比4.6%ポイント増、前年同期比5.6%ポイント増の32.4%となった。

◆2022年第2四半期のラトビア宿泊施設利用者数は前年同期比2.3倍

8月15日、中央統計局は2022年第2四半期のラトビア宿泊施設利用者数は前年同期比2.3倍の約556,300人となったと発表した。この内、外国からの宿泊施設利用者数は対前年同期比6.7倍の約291,200人となった。国別では、リトアニア（約51,100人）、エストニア（約39,400人）、ドイツ（約33,700人）、英国（約19,400人）、フィンランド（約17,700人）の順に多かった。ラトビアからの宿泊施設利用者数は対前年同期比30.2%増の約265,200人となった。

2022年上半期のラトビア宿泊施設利用者数は前年同期比2.2倍の約832,800人となった。このうち外国からの旅行者は全体の48.5%に相当する約404,200人、ラトビアからの旅行者は51.5%に相当する約428,600人であった。

◆2022年第2四半期の平均月給は前年同期比8.3%増の1,362ユーロ

8月30日、中央統計局は、2022年第2四半期の平均月給（グロス）は前年同期比8.3%増加し1,362ユーロとなったと発表した。業種別では、金融・保険部門（2,413ユーロ）や情報・通信部門（2,239ユーロ）の月給額が特に高かった一方、宿泊・食品サービス部門（861ユーロ）や教育部門（1,095ユーロ）等は平均を下回っていた。なお、手取りの平均月給（ネット）は前年同期比で7.5%増加し、997ユーロとなった。

— 外交 —

【今月の注目記事】

◆ラトビアが「16+1」の協力枠組みから離脱

8月11日、外務省は、ラトビアが「16+1」の協力枠組みから離脱すると発表し、以下のとおり声明を発表した。「現在のラトビアの外交・通商政策の優先順位に鑑み、ラトビアは、中東欧諸国と中国の協力枠組みへの参加を中止することを決定した。ラトビアは引き続き、相互利益、国際法、人権及びルールに基づく国際秩序の尊重に基づき、二国間で、またEU・中国間の協力を通じて、中国との建設的かつ実際的な関係のため努力を続ける」。なお、同日、エストニアも同協力枠組みからの離脱を発表した。

◆リンケービッチ外務大臣の豪州・ニュージーランド訪問

8月3日から12日にかけて、リンケービッチ外務大臣は豪州及びニュージーランドを訪問した。豪州では政府要人等と会談した他、キャンベラに大洋州地域で初となる在豪ラトビア大使館を正式に開設した。マールズ副首相兼国防大臣との会談で、リンケービッチ

外務大臣は、ロシアのウクライナでの軍事侵攻及びロシアへの制裁措置に関して意見交換し、豪州の制裁への断固たる姿勢を歓迎した。ファレル貿易・観光大臣との会談では、新たに開設した在豪ラトビア大使館が両国の経済協力と貿易の拡大を促進することへの期待を表明した。ウォン外務大臣との会談で、リンケービッチ外務大臣は、ウクライナに対する軍事・財政的支援及びロシアへの制裁参加に関して意見交換し、またラトビアと豪州の二国間関係とそのさらなる協力に関する共同声明が発表された。

豪州訪問の後、リンケービッチ外務大臣はニュージーランドを訪問し、同国要人等と会談した。オコナー貿易・輸出振興担当大臣との会談では、リンケービッチ外務大臣はキャンベラにラトビア大使館を開設したことを伝えるとともに、現在の地政学的状況における輸出入の新たな機会創出について意見を交わした。ルラウェ副議長等との会談では、現在の欧州及びインド太平洋地域における安全保障情勢について意見交換が行われ、志を同じくする国同士の緊密な協力関係の必要性が強調された。マフタ外務大臣との会談で、リンケービッチ外務大臣は、1991年の外交関係樹立以来の成功裏の協力関係に感謝を示し、今回の訪問が政治的・経済的な対話を促進することへの期待を示した。両外務大臣は、現在の地政学的文脈において、民主主義国同士は協力すべきであり、ラトビアとニュージーランドの関係の緊密化が進展していることを歓迎した。

◆オースティン米国防長官のラトビア訪問

8月9日から10日にかけて、オースティン米国防長官はラトビアを訪問し、カリンシュ首相、レヴィッツ大統領及びパブリクス国防大臣とそれぞれ会談した。

10日に会談したカリンシュ首相は、同長官に対し、米国はラトビアにとって安全保障上、特に重要な戦略的パートナーだと強調し、米国のラトビア及びバルト地域の安全保障への長きに亘る支援について謝意を表明した。

同日、レヴィッツ大統領は同長官をリガ城に迎え会談した。同大統領は、米国がバルト地域でプレゼンスのさらなる強化に取り組んでいることに感謝し、これはNATO同盟国間の連帯の精神を改めて確認するものだと述べた。これに対し同長官は、ラトビアがウクライナへ提供している軍事的、人道的及び政治的支援を称賛した。

さらに同日、パブリクス国防大臣がオースティン国防長官と会談し、その後共同記者会見に出席した。同会見でパブリクス国防大臣は、ベラルーシがロシアと一体化するのは時間の問題であると指摘し、米国の軍事・財政支援を増加させることが重要であると述べた。オースティン国防長官は「米国は、民主主義と安全保障のための戦いにおいて団結し、ラトビアを含むバルト三国の自由を守ることに揺るぎなくコミットしている」と述べた。また両者は、ウクライナが自国を守り続けられるように引き続きウクライナへ軍事支援を行うと表明した。

◆ステパノヴァ運輸次官と梁・駐ラトビア中国大使との会談

8月10日、ステパノヴァ運輸次官は梁建全・駐ラトビア中国大使と会談し、現在の地政学的状況における課題や、運輸・物流分野の協力に対する両国の関心について協議した。ステパノヴァ運輸次官は、「ロシアのウクライナ侵攻は運輸・物流産業の活動を非常に困難なものにしている一方で、同時にこれらの産業は新たなビジネスチャンスを探している。ラトビアの物流企業は中国と協力し、アジアと欧州を結ぶ効率的な輸送の流れを提供する準備が出来ている」と述べた。

◆パブリクス国防大臣がコペンハーゲン・ウクライナ会議 2022 に出席

8月11日、パブリクス国防大臣はコペンハーゲンで開催されたウクライナ支援に関する会議に出席し、ラトビアはロシアの侵略に対抗するウクライナの防衛能力に貢献するために支援を継続すると強調した。同国防大臣はまた、ラトビアは軍装備品、ウクライナ人兵士への訓練及びその他必要な軍事的支援を提供することによりウクライナへのサポートを続けると確約した。さらに、パブリクス国防大臣は同盟国に対して、ウクライナが必要とする備品を生産するために、ラトビアの防衛産業が提供する機会を活用するよう呼びかけた。また、戦争を早期に終結させるためには、ウクライナを可能な限り支援するよう要請した。

◆カリンシュ首相とシモニーテ・リトアニア首相との会談

8月12日、カリンシュ首相は、シモニーテ首相とピルスルンダーレにて会談した。会談の中で、両首相はこの地域における現在のエネルギー及び安全保障状況、ウクライナへの支援の継続等について話し合った。カリンシュ首相は、ロシアが残虐な戦争を隣国に対して6か月間も継続しており、EUはロシア市民に対しシェンゲン観光ビザの停止を決定してロシアに対する制裁を強めるべきだと強調した。現在のエネルギー状況について、両首相は、来る暖房シーズンに地域にとって必要な天然ガス供給を確保しながら、ロシアからのエネルギー自立を強化する必要性を強調した。両首相は、この地域における安全保障状況とロシアのウクライナでの戦争について話し合い、ロシアの攻撃に対抗するウクライナへの支援に引き続きコミットすると再確認した。なお、当初予定されていたバルト三国首相の非公式会合は、カッラス・エストニア首相がコロナウイルスに感染したため開催されなかった。

◆リンケービッチ外務大臣のトルコ訪問

8月16日、リンケービッチ外務大臣はアンカラを訪問し、チャヴシュオール外務大臣と会談した。両外務大臣は、ラトビア・トルコの二国間関係、ベラルーシに向かう第三国の人々への対応及びフィンランドとスウェーデンのNATO加盟について意見交換し、またEU・トルコの関係についても話し合った。リンケービッチ外務大臣は、「トルコはEUの重要なパートナーであり加盟候補国である。ラトビアはEUがトルコに対して前向きな議題

を維持することに関心があり、EU・トルコ間の対話を支持する」と述べた。会談では、ロシアのウクライナ侵攻についても話し合い、リンケービッチ外務大臣は、トルコの外交努力及びウクライナ産の穀物の輸出に関する国連総会の決議へのトルコの支持を歓迎した。

◆スタキス・リガ市長のウクライナ訪問

8月19日、スタキス・リガ市長は、欧州の都市の市長数名とともにキーウを訪問し、ゼレンスキー・ウクライナ大統領、クリチコ・キーウ市長、その他のウクライナの国及び自治体の職員等と面会した。スタキス市長は他の市長とともに、ウクライナの都市の持続可能な再建を支援するための政治合意に署名した。この合意は、Eurocities（注：欧州38か国の200以上の都市が加盟するネットワーク）がサポートし、ウクライナの地方自治体を代表する地方自治体会議の理事会が署名した。署名したリガ、フィレンツェ、アテネ、ヘルシンキ、リヨン、マルセイユ、オスロ、ティラナ、キーウの市長は、「我々欧州とウクライナの市長は、ロシアのウクライナでの戦争を非難し、平和が回復できるようロシア軍の即時撤退を要求する。我々はウクライナの都市の迅速かつ持続可能な再建を準備・実施するために協力することを約束した」と表明した。

訪問後、スタキス市長はロシア軍の残虐さについて言及し、ゼレンスキー大統領が欧州の市長らに対し3つの要望（ロシアの情報戦に反撃すること、ウクライナの都市の復興を主導すること、そして欧州や世界の他の都市の模範となること）を表明したと説明した。

◆ステュアート英外務・開発省閣外大臣のラトビア訪問

8月24日、リンケービッチ外務大臣はリガにおいて、ステュアート英外務・開発省閣外大臣（欧州担当）と会談し、ウクライナ情勢、この地域における安全保障状況及びブレグジット後のEUと英国の関係について話し合った。リンケービッチ外務大臣は、我々は英国の断固たる姿勢、現在適用されている制裁及びウクライナに提供された軍事的支援に感謝すると強調した。同外務大臣はさらに、英国のバルト地域の安全保障を強化するための貢献に関しても深く感謝した。リンケービッチ外務大臣は、英国はブレグジット以降も、欧州の安全保障及び防衛政策のみならず、多くの二国間関係の問題やEU・英国関係においても非常に重要な役割を保ち続けると強調した。

— その他 —

【今月の注目記事】

◆1,400回分のサル痘ウイルスのワクチンを受領

8月15日、保健省は欧州委員会のサル痘に対するワクチンの単独調達から最初の1,400回分のサル痘ウイルスのワクチンを受領したと発表した。これらのワクチンは、サル痘ウイルス感染者の濃厚接触者及び研究所を含む医療従事者が接種するためのワクチンであり、集団予防接種は行わない予定。

これまでラトビアでは4人のサル痘ウイルス感染者が見つかり、疾病予防管理センターによると、これらの4人は外国で感染したとされ、国内感染は見つかっていない。

◆ビーチバレー欧州選手権でラトビアは金メダルを獲得

8月20日、ドイツのミュンヘンで開催されたビーチバレーの欧州選手権において、ラトビアの女子チーム（ティーナ・グラウディニャ選手及びアナスタシヤ・クラフチェノカ選手）はスイスのチームに2対1で勝利し、金メダルを獲得した。銅メダルはオランダのチームが獲得した。

このラトビアの女子チームは、2019年にロシアで開催されたビーチバレーの欧州選手権において金メダルを獲得したほか、2021年のオリンピック 2020 東京大会に出場した。

◆カヌースプリント欧州選手権でラトビアは銀メダルを獲得

8月21日、ドイツのミュンヘンで開催されたカヌースプリントの欧州選手権において、カヤック 200メートル競技の男子シングルスで、ラトビアのロベルツ・アクメンズ選手が37.028秒で銀メダルを獲得した。金メダルはポルトガルのケビン・サントス選手（36.975秒）、銅メダルはスウェーデンのペッテル・メニング選手（37.055秒）がそれぞれ獲得した。

2022年8月の主な出来事

	【内政】	【外交】
8月	<p>2日、第14回国会選挙の候補者名簿締切</p> <p>9日、政府はベラルーシ国境付近の非常事態宣言を再延長することを決定(11月10日まで)</p> <p>11日、国会はロシアをテロ支援国家と認定 11日、国会はベラルーシ国境付近の非常事態宣言の再延長決定を承認</p> <p>23日、リガ市戦勝記念公園の記念碑撤去開始</p> <p>30日、政府はスクルテLNGターミナルに国益対象施設のステータスを付与することを決定</p>	<p>3日～12日、リンケービッチ外務大臣、豪州・ニュージーランド訪問</p> <p>9日～10日、オースティン米国防長官、ラトビア訪問</p> <p>11日、外務省は、ラトビアが「16+1」の協力枠組みから離脱することを発表 11日、パブリクス国防大臣、コペンハーゲン・ウクライナ会議出席(於デンマーク) 12日、カリンシュ首相、シモニーテ・リトアニア首相と会談(於ラトビア)</p> <p>16日、リンケービッチ外務大臣、トルコ訪問</p> <p>19日、スタキス・リガ市長、キーウ訪問</p> <p>24日、ステュアート英外務・開発省閣外大臣、ラトビア訪問</p>

ラトビア主要経済指標

GDP

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
名目GDP	百万ユーロ	25,371	26,984	29,154	30,647	29,457	32,867	8,136	9,520	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP	ユーロ	12,949	13,901	15,135	16,019	15,497	17,454	-	-	公式統計ポータル
GDP実質成長率(※)	%	2.4	3.3	4.0	2.5	▲ 3.8	4.5	6.7	3.0	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP/EU平均	%	66	67	69	69	70	71	-	-	EU統計局

(※)前年同期比(原数値)、(※1)暫定値

財政収支、政府債務残高

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
財政収支	百万ユーロ	6	▲ 208	▲ 245	▲ 174	▲ 1,317	▲ 2,416	▲ 72	-	公式統計ポータル
財政収支対名目GDP比	%	0.0	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.6	▲ 4.5	▲ 7.3	-	-	公式統計ポータル
政府債務残高	百万ユーロ	10,245	10,519	10,816	11,247	12,754	14,740	14,632	-	公式統計ポータル
政府債務対名目GDP比	%	40.4	39.0	37.1	36.7	43.3	44.8	-	-	公式統計ポータル

失業率、消費者物価上昇率、月額平均賃金

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
失業率	%	9.6	8.7	7.4	6.3	8.1	7.6	7.3	6.6	公式統計ポータル
消費者物価上昇率(※)	%	0.1	2.9	2.5	2.8	0.2	3.3	9.2	16.4	公式統計ポータル
平均賃金(グロス)	ユーロ	859	926	1,004	1,076	1,143	1,277	1,297	1,362	公式統計ポータル
平均賃金(ネット)	ユーロ	631	676	742	793	841	939	951	997	公式統計ポータル
最低賃金(月額、グロス)	ユーロ	370	380	430	430	430	500	500	500	公式統計ポータル

(※)四半期は前年同期比

対内直接投資(FDI)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	13,591	14,713	15,294	16,000	16,727	20,964	21,571	-	中央銀行

貿易統計

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	10,490	11,647	12,773	12,966	13,305	16,452	4,648	4,976	公式統計ポータル
輸入(CIF)	百万ユーロ	12,417	14,177	15,793	15,914	15,159	19,519	5,617	6,525	公式統計ポータル
貿易収支	百万ユーロ	▲ 1,927	▲ 2,530	▲ 3,020	▲ 2,948	▲ 1,854	▲ 3,067	▲ 969	▲ 1,549	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
日本への輸出	千ユーロ	48,524	50,526	53,343	56,637	50,099	76,889	22,099	22,235	公式統計ポータル
日本からの輸入	千ユーロ	18,974	22,282	25,668	27,999	21,738	24,490	6,640	6,591	公式統計ポータル
対日貿易収支	千ユーロ	29,550	28,244	27,675	28,638	28,361	52,399	15,459	15,644	公式統計ポータル

日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
ラトビアへの輸出	百万円	5,523	7,573	7,325	5,794	4,459	5,809	1,312	831	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	9,291	8,017	8,847	8,868	8,650	10,088	4,643	3,077	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 3,768	▲ 444	▲ 1,522	▲ 3,074	▲ 4,191	▲ 4,279	▲ 3,331	▲ 2,246	財務省統計

両国間の訪問者数

	単位	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 Q1	2022 Q2	出典
ラトビア→日本	人	2,484	2,487	2,551	2,701	393	393	11	-	日本政府観光局
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	23,191	24,576	29,534	20,416	2,358	396	112	211	公式統計ポータル

(注)ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2021年7月末現在、1ユーロ=139円程度。

(2022年9月1日まで公表分のデータ)